

ある。また財田川水系には昭和二八年（一九五三）に久保ダム、昭和三二年（一九五七）に多治川ダム、昭和四二年（一九六七）には野口ダムがそれぞれ竣工した。これらのダムは防災を主体にしたものではあるが灌漑用にも大いに役立っている（第一編第一章仲南町の地形・地質参照）。

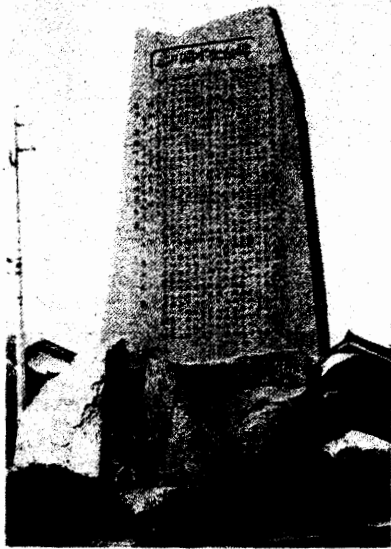
## 二 香川用水

四国一の吉野川の水を香川県に導流して、県下の水不足を解決しようとする香川用水事業は、吉野川総合開発計画の一環として昭和四三年（一九六八）一〇月二四日起工、昭和五四年（一九七九）六月一〇日竣工した総工費九九〇億円（早明浦、池田ダム建設費を含む）の大事業であった。

我が仲南町では地形上佐文地区のみこの事業に関係して昭和五一年（一九七六）三月に同地区関係の工事は竣工した。これを記念して加茂神社の西方国道三七七号線沿いに香川用水記念碑が建てられた。この碑文は次のとおりで、佐文地区の香川用水事業がくわしく記されている。

### 香川用水記念碑

香川県仲多度郡仲南町佐文は千数百年昔より雨乞踊り香川県指定無形文化財綾子踊りが伝わっている特に水利に



香川用水記念碑

は立地条件悪く古来干魃に悩まされ先人は水不足解消のため雨乞踊り溜池築造等幾多苦心の対策がなされて来た佐文の歴史は水との闘いの歴史であったと言っても過言ではない幸いにして国県において実施中の香川用水事業に当地区も昭和四十四年導水計画に参画し総事業費二億三千万円受益面積九ヘクタール受益者百十三戸年間給水量五十四万トン昭和四十七年四月着工同五十二年三月竣工事業として東部幹線佐文分水工を起点に各ポンプ場を経て延長三千八百米の送水管を敷設し山神池中谷尾郷各池に送水し更に団体営事業として四個ポンプ場を設置し五十一ヘクタールの樹園地にスプリンクラー灌水工事を施工したこの事業完成によって従来の不合理な水利慣行に終止符を打ち佐文各池に統合され香川用水の近代的水利団体として発足することとなったこれで水不足は全く解消し将来当地域の営農向上に大いに貢献するものと期待している特に仲南町においても当香川用水事業を重視され県営事業負担金三千三百万円を助成された茲に事業完成に当たり沿革を誌し同事業を指導された多数諸賢の労を多とし榮譽を讃へ感謝の意を表しこの碑を建設するものである

昭和五十一年三月建

香川用水佐文地区畑灌導水共同施行

代表者 池口光春

題字 仲南町長枝園貞夫書

## 三 た め 池

仲南町のため池の数は、昭和五五年（一九八〇）調べで大小あわせて六三四あり、その地区別分布は表37のとおりである。県下におけるため池の多い市町順位によると第一〇位にあたり、全国的にため池の多い香川県の中でも、我が仲南町はため池の多い町である。